

報告

平成20年度事業報告及び、平成21年度事業計画

去る2月24日 東京大学本郷キャンパス「山上会館」にて平成21年度通常総会が開催された。(出席会員 33名) 議決数は規定を超え成立、各議案が報告、審議され、承認された。

総会終了後、内田祥哉先生の記念講演があり、その後、同会館地下食堂にて懇親会が開かれ、和やかに散会した。(総会、懇親会の模様は表紙写真参照。記念講演概要は別欄に収録しました。) 審議、承認された議案は以下の通り

第1号議案 平成20年度事業報告及び収支決算(紙面の都合上、収支決算掲載省略)

1. 事業の成果

平成20年度の事業計画に基づいて事業を展開し、相応の成果を上げることが出来た。

1) 事業内容 特定非営利活動に係る事業を対象とし、平成20年度事業計画に基づいて次項に示す事業を実施した。

2) 実施体制

① 会員: 正会員78名、賛助会員43名、顧問1名(平成20年12月31日現在)

② 組織: 建築部会、戸建住宅部会、集合住宅部会、住宅技術部、マンション管理組合支援事業部のほか、自主研究部会(歴史的建築研究会、L L B技術研究会、新分野進出研究会)、経営分科会、広報委員会、事務局

2. 事業の実施に関する事項

2-1 事業活動記録(8ページ表参照)

第2号議案 平成21年度事業計画及び収支予算(紙面の都合上、収支予算掲載省略)

1. 事業の方針

2008年秋のアメリカンマネークライシスに端を発した衝撃は世界的な大不況となり、回復基調にあったわが国の景況を一気に逆転させる状況になった。この様な逆況の中にあって本協会の業績は、マンション管理組合支援事業が関係者の努力により順調に推移し、戸建部会の教育普及事業も回復基調であったが10月以降ホームビルダーの経営収縮等により受講者が激減する事態となった。一方、調査事業等は国土交通省の長期優良住宅推進等に関連して「タウンハウス耐久性調査」等を受託して、タウンハウス管理組合との関係も今後の技術支援に結びつく展開を見せている。

かかる厳しい環境にある本年度の事業方針としては、マンション管理組合支援事業は社会的なニーズの高まりと共に、公正な働きが評価され信頼を増しており、管理組合当事者より、かってないほどの問い合わせを受けている状況にかんがみ、事業部の技術支援体制整備と併せ、

受注内容を十分検討してユーザーの期待に応えられるように事業を推進する必要がある。

また、教育普及事業については、全体のプログラムを絞り込み、厳しい業況の中で真に事業者が求めるタイムリーなテーマを選定する等の再編を実施することとする。また、本協会の設立の趣旨に鑑み「新寺子屋サーツ」「建築技術スキルアップセミナー」等のセミナー開催を推進する。

技術支援、調査受託等の事業については、長期優良住宅認定制度の発足に関連して「先導的モデル事業」「住宅の担い手支援事業」「地域木造住宅市場活性化推進事業」等々かずかずの国土交通省の補助金事業が実施されている状況にかんがみ、タウンハウス大規模改修技術支援、地方建築業者団体との支援連携、公益団体との連携等を強化して積極的に技術支援・調査受託等を推進することとする。

また、新分野進出研究会においては、「林業と建設業の連携」「地域資源活用」等に関して調査研究を行うとともに、「トップランナーフォーラム」の事務局として地方建設業と林業の活性化を図る。

以上のような事業展開を推進しつつ、開かれたサーツとして、会員相互の交流や情報交換の場としての沙龙的な役割を、より重視して参りたい。

最後に、高齢化が進んでいる本協会の運営体制については、本年度中に執行部の若返りの目途をつけ、引き続き協会を運営推進してゆくことが出来るように活性化を図る所存である。

2. 事業計画

1) 建築部会

○ 教育普及事業

- ・新寺子屋サーツ/寺子屋方式の小人数・建築技術等アフター5ゼミ(一般市民および建築技術者への親切教育・市民講座)
- ・(社)東京建設業協会・施工技術者講習/(社)東京建設業協会からの委託講習(企画提案及び講師派遣)
- ・イブニングセミナー/実務に役立つ性能時代の構造基礎技術、建築技術(構造技術及び構造技術以外の建築技術テーマによる中堅技術者教育)

- ・建築スキルアップセミナー / 中堅ゼネコン (日建経会員) の施工技術者教育 (基礎知識・管理知識 の習得)
- ・サーツシンポジウム・討論会 / 話題テーマによる講演・パネリストセッション (「厳しい環境の中の建築技術伝承」など)
- ・ビデオ・テキスト制作協力 / 日建学院の一級建築士受験対策作成・見直し協力 (計画、環境・設備、法規、構造、施工)

○ 技術支援事業

- ・技術相談 / 設計・施工技術者及び建築主、集合住宅居住者等幅広い分野を対象とする建築技術相談対応。(設計者・施工者の技術的諸問題、マンション管理組合支援事業対応など)

- ・コンサルタント及び実務事業 (新規事業) / 新築・改修計画、工事監理、建物調査・耐震診断・相談事業と連携し、業務範囲・担当者の選定、PR 方法等体制を整備し試行する)

- ・講師派遣等 / 社員教育、技術伝承のための要望に応じた講師派遣等 (主として中小ゼネコン等を主な対象とする)

2) 集合住宅部会

○ 教育普及事業

- ・マンションに関する各種講演会講師派遣等。

○ 技術支援事業

- ・マンション管理組合支援事業について継続技術協力する。

○ 研究事業

- ・建築病理学研究を継続する。(既存建物の劣化の実態調査し、適正な診断カルテを作成しリフォームの健全な発展に資す)

- ・「適切な処方箋の作成に関する検討」(国交省「集合住宅の劣化診断および蘇生技術適用に資するナレッジベースの研究開発」の一部)

3) 戸建住宅部会・住宅技術部

○ 教育普及事業

- ・「ホームビルダー住宅実務セミナー」を継続開催する。
- ・「住宅の地盤及び基礎の考え方講座」。
- ・「住宅設計者のための構造 (木造) 基礎講座」

○ 技術支援事業

- ・住宅情報企業 (住宅産業塾) へのセミナー企画提案
- ・地域の建設団体等への講師派遣
- ・木造住宅合理化システム普及協会技術サポート
- ・タウンハウス改修コンサルタント (行徳ファミリア、港南ファミリア、ガーデンタウン南桜井ほか)、

○ 情報発信事業

- ・住宅産業新聞「サーツ技術講座・住宅をつくる」連載

○ 調査研究事業

- ・200 年住まい・まちづくり担い手事業への対応
- ・国交省・木造住宅の品質確保に対する供給者の意識調

査支援

- ・国交省・密集市街地の耐震改修推進方策調査支援
- ・地域木造住宅活性化事業 (応募支援)

4) マンション管理組合支援事業部

○ マンションの維持管理・リノベーションに関する事

マンション管理組合および賃貸マンションのオーナーに対して、マンションの社会的有効性を維持するための管理組合運営に関する助言・建物診断・長期修繕および改善計画の策定・大規模修繕等の仕様決定・大規模修繕工事の施工業者の選定補助・および大規模修繕等の工事監理等を行う。

○ 教育研修・広報活動

マンション管理組合および賃貸マンションのオーナーに対して、マンションの社会的有効性を維持するための講座の開設、「日経住まいのリフォーム博」などのイベントを通じて広報活動、「PSATS REPORT」の配布を行う。

○ 事業部加入メンバーの資質向上のための研究会の開催

新たに開発された技術・商品等の研修、超高層マンションの大規模修繕の技術的問題点その他について毎月 1 回の研究会を開催する。

5) 自主研究部会

○ 歴史的建築研究会

見学会・勉強会を通じて伝統技術を集成するとともに、歴史的な建築物や街並みの保全について研究する。

○ LLB 技術研究会

ロングライフに寄与する良質な設備の開発を促進する一助とするために、設備機器の開発の経過を調査し、「設備開発物語」としてとりまとめる。

○ 新分野進出研究会

建設業の新分野進出、特に中山間地域での林業との連携や地域資源活用分野進出、エネルギー分野への進出などの調査研究を行う。また、情報発信活動の一環として「建設トップランナーフォーラム」の活動支援を行い、このフォーラムでの事例紹介などを通じて、建設業の新分野進出・展開に寄与することとする。

1. 「建設トップランナーフォーラムアグリビジネス分科会 2009 in 仙台」(1 月 23 日)

2. 「建設トップランナーフォーラム in 唐津」(2 月 10 日)

3. 「第 4 回建設トップランナーフォーラム」(東京、7/23,24)

6) 広報委員会

○ サーツ会報の発行 年 4 回。

7) 情報発信事業 (各部共通)

・月刊誌「建築技術」連載エッセイ:「わたしの建築放浪記」/ トピックス紹介: サーツニュース。

・(株) 建築資料研究社「コラム」

8) その他活動計画

- ・見学・研修／会員の技術リフレッシュ、知見チャージを目的とする見学
- ・研修・勉強・親睦等の会を必要に応じ随時催行する。

- 監 事：大野 隆司、宮崎 吉英
- 顧 問：田中 義幸（公認会計士）
- 委員長・部会長：

第3号議案 役員の追加増員

当協会の事業強化を図るため、理事、監事各1名を下記のとおり、追加増員することとしたい。

(理 事)小藤 捷吾 (監 事)宮崎 吉英

総会で理事と幹事それぞれ1名の増員が承認されました。今年度の役員と各部会長は次のとおりです。

- 代表理事：和田 章（所轄庁届出代表者）
松村 秀一（経理統括責任者）
- 常務理事：阿部 市郎、米田 雅子
- 理 事：安部 重孝、泉 清之、滝沢 清治、福本 雅嗣、堀井 秀治、太田 統土、中村 正實、向野 元昭、小藤 捷吾

- 企画運営委員会・阿部 市郎
- 組織規定委員会・堀井 秀治
- 会員審査委員会・泉 清之
- 広報委員会・米田 雅子
- 建築部会・安部 重孝
- 集合住宅部会・松村 秀一
- 戸建住宅部会・滝沢 清治
- 住宅技術部・福本 雅嗣
- マンション管理組合支援事業部・中村正實
- 自主研究部会部会長・菅野 忠
- 会報編集委員会・伊藤 誠三
- 事務局長代行・松下一郎

事業活動記録

事業名	事業活動内容等	実施	担当部会	実施場所	受益対象者		
					対象	人数	
教育普及	ホームビルダー住宅実務セミナー（建築士会継続能力開発(CPD)プログラム認定講座）	7.住宅事故事例あれこれ…住宅の瑕疵保証制度の対応の義務づけと瑕疵の実態を事例から解説 8.環境共生住宅とは?…環境にやさしい住宅は時代のトレンドである。如何にこれを実現するのか? 9.耐震性から、木造軸組住宅の構法を考える…木造の実態から、適切な耐震設計・補修の課題を解説 10.健康住宅とはどのような住宅か?…住む人の安心・安全を実現する方策は? 1.超長期住宅に要求される諸性能の実際を解く 2.戸建住宅の地盤調査の現状と結果の評価について 3.木造住宅基礎の選択と設計方法 4.ひび割れをしない住宅の基礎コンクリートの施工…クレムになり易いこの問題を解決する方法 5.洋風住宅の様式の理解と日本住宅への応用方法 6.省エネ住宅の押さえておかななくてはならない要点と手段の選択	戸建住宅部会	住宅金融普及協会会議室	工務店等の住宅技術者	181人	
	住宅の計画(プランニング)セミナー（建築士会継続能力開発(CPD)プログラム認定講座）	1.住宅計画-1 設計計画上の基本 住宅に求められるもの・将来を見据えて 2.住宅計画-2 快適な生活を包み込むプランニングの進め方 3.空間別に考えよう-1:居住空間 リビング・ダイニング・キッチンを中心に 4.空間別に考えよう-2:トイレ・洗面・浴室を中心に/プランニング演習	9月12、10月3、11月14、12月12				17人
	住宅の地盤及び基礎の考え方:調査・計画・設計セミナー	1.住宅建設地の事前調査の最新手法 2.工務店で作れる地盤調査 3.住宅基礎の計画と設計	10月16、11月20、12月18				25人
	住宅営業設計プレゼンテーション基本実技セミナー	①営業設計プレゼンテーションとは?②各種画材とその使い方、材料別表現技法とカラーリング③点景描写とカラーリング、平面・配置図のカラーリング実習④建物の陰影と屋根の表現および立面・点景描画カラーリング実習⑤立面をパース化する陰影とカラーリングの実技	2月7・8				4名
	新寺子屋ツアー	①四川大地震現地視察②建築紛争と民事調停③マンション大規模改修について④建設業と林業の連携で森林再生⑤オリンピック後の北京	7月22、9月24、10月27、11月10、12月3				
技術支援	施工技術講習会	1.コンクリート 2.施工図	建築部会	ナグ事務所 1.アルカディア 2.浜離宮建設プラザ	一般建築技術者 (社)東京建設業協会 会員	78名 100名 100名	
	施工技術研修	1.躯体工の品質確保 2.建築請負基礎研修		1.銀座フアイト 2.N T T グラフィック	北野建設協力会社 社員 NTT FFMリスト	58名 10名	
	不特定の技術者・会社に対する技術相談	技術相談	随時	～	～	～	～
	国土交通省・基本制度部会 専門委員（建築基準法・建築士法改正審議）	随時	～	～	～	～	
	立川市新庁舎建設事業における施工監理(立川市市政アドバイザー業務)	11月1～3月31	～	立川市	～	～	

技術支援	社内研修	3月26	各部会	新潟	フジノビル	～	
	住宅産業熟月例会	4月18		～	日菱企画(株)	50名	
	技術コンガ(基礎工事)	3月3		～	第一建設	～	
	技術コンガ	4月17		～	大九建設	～	
	「7.26」含有建材使用状況評価システムの調査研究」委員会への委員派遣	4～8月(3回)		((財)建材試験センター	～	～	
	「合理化システム」認定取得	4～9月		山口県建設産業協会	～	～	
	林業技士養成研修事業	7～12月		(社)日本森林技術協会	～	8名	
	研修事業等の技術支援	4月～		木造住宅合理化システム普及協会	～	～	
	「先導的モデル事業」への技術支援	12月～		以心(株)	～	～	
	地域・木造住宅市場活性化事業応募への技術支援	12月～		山口県建設産業協会	山口県建設産業協会 会会員	20社	
マンション管理組合支援事業	ライオン公園、パークハイム亀戸、ファミル春日部二番館、ウグイス船橋、 コスモ池田山公園、パークサイド平塚、セザール九十九里浜、パルスタ、スカイビュー戸塚、 ハイムライズ、ダイア、いざみ野、ライオンマンション聖蹟桜ヶ丘、ライオンガーデン田無本町、 ハイム高輪、光が丘パークシティゆりの木北団地 ほか	随時	マンション管理組合 支援事業部	～	マンション管理組合	～	
	マンション管理組合・修繕委員のための「マンション講座」	6月14	グループ 新信ホーム	～	～	30人	
	日経住まいのリフォーム博2008(第4回)	11月20～23	東京ビッグサイト	～	一般	多数	
	司法支援	建築紛争に関わる司法支援	随時	～	～	随時	～
資格試験関連	建築設備士解説テキスト、一級建築士学科テストブック	～	建築部会	～	～	日建学院会員 多数	
	一級建築士学科試験即日回答	7月27	～	～	～	多数	
情報発信	専門誌、報道、会報等	建築技術	連載「わたしの建築放浪記」	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12月号	～	購読者	多数
		サーズニュース	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12月号	～	購読者	多数	
		日経ホームビル	連載「住宅技術Q&A」	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12月号	～	購読者	多数
		建築設備	見学・講演会記録:UR技術研究所/国立代々木競技場	3,4月号/7,8月号	～	購読者	多数
		建築資料研究社	Q&A、コラム	随時	～	日建学院会員	多数
		住宅産業新聞	「サーズ技術講座・住宅をつくる」連載	6月～	～	購読者	多数
		会報	特集、活動状況報告等	季刊	～	会員	300部
		ホームページ	協会活動内容・状況、各種スケジュール等の周知	随時	http://www.psats.or.jp	公開	多数
調査研究	受託研究	「建築病理学」を形成する基礎的な知識体系の構築	～	集合住宅部会	～	～	
		東京圏におけるソーバ工法による緑地の実態調査(国土交通省補助金事業「200年住まい・まちづくり担い手事業」のうち)	～3月	戸建住宅部会	(財)住宅生産振興財団	～	～
		木造住宅の品質確保に対する供給者の意識調査支援	～3月	国土技術政策総合研究所	～	～	
		密集市街地の耐震改修推進方策調査支援	～3月	日本開発構想研究所	～	～	
	国土の保全に資する建設業の役割を活用した総合的な過疎・中山間地域支援策検討	～3月	国交省	～	～		
	建設業の環境関連分野(有機系と無機系)進出に関する事例の整理と資料作成	～2月	新分野進出研究会	慶應義塾大学	～	～	
	新分野進出研究	第3回建設トップランナーフォーラム「クールなめざして-For Our Cool Earth 2050-(主催:建設トップランナーフォーラム&日本青年会議所建設部会、事務局:サーズ)	7月24・25	新分野進出研究会	日本建築学会建築会館	公開	約650名
建設トップランナーフォーラム・環境ビジネス・森林再生合同分科会	1月31	岐阜	建設トップランナーフォーラム	～	約80名		
建設トップランナーフォーラム・in富山	3月8	富山	建設トップランナーフォーラム	～	約60名		
活動	活動内容等	実施	担当部会	実施場所	受益対象者		
見学	経済産業省建物の免震改修 祐天寺・免震プロジェクト 清瀬第十小学校耐震改修&財務省王子寮耐震補強丸の内パークビル	2月14、6月16、9月14、10月6	建築部会	現地作業所	対象	人数	
					～	20名	
勉強会ほか	勉強会 ・省エネルギー基準の解説 ・瑕疵担保と不法行為賠償の違い 研修旅行(京都)	10月2、11月6、10月24/25、1月16、2月13 3月19、4月23、6月17、10月14	戸建住宅部会 マンション管理組合支援事業部	サーズ事務所/現地 サーズ事務所	対象	人数	
					～	～	
	勉強会: ・被災建築物応急危険度判定(実例と判定調査事例紹介) ・集合住宅に関する建築紛争	1回/月	建築部会	～	対象	人数	
					～	8～12名	
銘酒の会	随時	～	～	～	～		